

中学校再編に関わる保護者意見交換会の概要

【篠島地区】

日 時 令和6年12月5日（木） 午後7時00分～午後7時55分
場 所 篠島開発総合センター 集会室
参加者 10名

主な意見・質問

○第1回意見交換会での質問に対する回答（資料1～3）※8月27日未回答分

Q：祭礼の参加についての質問ですが、例えば平日、篠島では10月12日におんべ鯛祭りがあるのですが、それには中学生は参加できますか。

A：10月12日が平日の場合、現状、南知多中としてはその日を休みにするという事は難しいです。参加する生徒については、保護者の判断でラーケーションを取得して、参加することになると考えています。ラーケーションは年3日取得が可能です。確かになぜそこで取らなければならないのかという考え方も出てくるとは思いますが、今の段階で可能性として話せるのはそういう方法を考えています。

Q：その方法では、今のように地域の人たちが中学生や小学生の催しを見るために、おじいちゃんやおばあちゃんが集まって、子どもたちの参加があるからこそ人が集まっているという部分があるが、それがもし、ラーケーションを取ってということだと、一見物人のようになり、今のように授業時間を調整していただいている行事として、参加する側にはもうなれないということですか。

A：学校としてできることには限界があり、今の南知多中もそうですが、4つの地区が一緒になっているということで当然それぞれの地区が大事にしている行事、祭礼があります。それぞれの地区が色々な思いをもって参加してほしい（主催のほうで活躍してほしい）という要望はいただきますが、すべての要望に応えることは難しいのが実情です。

ただ、これは工夫の仕様だと思うのですが、篠島のお祭りをするために、中学生にこれだけのことをやってもらいたいというのが分かっていると思うのですが、これまでであれば、島内に学校がある訳ですので、篠島のお祭りをするためにすぐに学校とやりとりをして準備できたものが距離的に難しくなるということで、大変ご足労をかけるのですが、一つの方法として、篠島の方に南知多中に足を運んでもらう方法があります。また、地区のほうで土日、平日で生徒を集めてもらう方法もありますし、ほかの地域ですと篠島と違って地区・地域で子どもたちを集めるのが難しい状況のため、地域の方が南知多中に足を運んで、直接中学生に行事を案内することで、繋がりを作っています。役場との繋がりもあり、例えば産業まつりのボランティアなどは役場の職員が南知多中へ足を運んで中学生に直接説明しています。役場だけでなく、地域の方が、学校に足を運んで、地域のほうから働きかけて繋がりを作っていただく、そういうことを大事にしていければと考えていますので、そうすれば篠島の祭りも同様に、

しっかり維持できるのではないかと考えています。

○部活動の地域移行について（資料４）

Q：地域クラブが篠島にできる可能性はありますか。

A：資料４の左下をご覧ください。現状、指導員は女子バレー部１名ですが、野球を指導してもよいという方がみつかっていると聞いております。令和８年度以降、この指導者の方が指導を継続していただけるということであれば、篠島に地域クラブが設置されるということになりますので、この指導者の方と子どもたちの活動を続けたいという考え次第になってくると思います。

Q：現在指導は３時間までだと思うが、これは町から支払われているのですか。

また、女子バレーの指導員が１人となっているが、試合等が土日にあるときに船代がでないとのことだが、どうなっているのですか。試合に行くと３時間では帰ってこられないと思うがどうですか。

A：指導員の報酬は、国の補助金を活用しています。

現状、指導員の方には、面接の際に交通費は時給に含まれていることと、３時間を超えてしまう場合は、これ以上の支払いはできないとお知らせしています。

○中学校再編に関する意見交換（資料５、６）

Q：アンケートをとったとして、その後はどういう流れになるのでしょうか。仮に、今のお母さんたちがすぐにでも統合したいという意見が多かった場合や令和９年には統合したほうがいい等、統合寄りの意見になったとして、そうなった場合どういう流れにしていくつもりですか。アンケート後の予定が知りたいです。

また、個人でも希望する生徒がいれば南知多中への通学を可能にするという意見もアンケートに追加してほしいと考えています。

A：アンケート後ですが、統合を望む声が大ききようであれば、統合するという方向で篠島の皆さん全体の意見として扱っていきたいと思っています。教育委員会としては、希望する一部の生徒が南知多中に通うということを認めてあげたいという思いも十分ありますが、それを認めてしまうと島の中に住みながら違う学校に通う生徒がでてしまうため、それはなんとか避けたいと考えていますので、できればどちらかにしたいと考えています。しかし、篠島の皆さん全体の意見として、一部の生徒が南知多中に通うのを認めるということであるならば、それも考えなければいけないと思っています。はっきりしない答えになっているかもしれませんがそんな考えです。ですので、もしも統合の声が大きければ統合という方向にしたいと思っています。

Q：以前、日間賀中が統合するかしないかというアンケートをとったときに、結局多数決となり、僅差で決まったが、あれは日間賀島の人たちの声で少しでも賛成が多けれ

ば統合という流れだったのですか。もし、篠島でそのような結果になった場合にどうなるのかを知りたいです。日間賀島の決め方はどのように決定したのかを知りたいです。

A：アンケートを取る前に、篠島同様意見交換会を行っていました。本来はアンケートで決めず、話し合いで決めたかったのですが、両方の意見が分かれていたため、はっきりするためにアンケートで投票することにしました。その時に多数決で多少の違いがあっても、多いほうにしますということになりました。もし反対意見が多ければ、統合していないということになります。ですから、篠島でも同じように、最終的には多数決で決めたいと考えています。

Q：多数決のアンケートは島民全体でやったのですか。会に参加した人だけですか。対象の保護者は中学生のみか、小学生、保育所どこまでが対象ですか。（アンケート対象の範囲）

A：日間賀島で実施した時は保護者のみです。意見交換会に地域の方も出てこられましたが、その際に自分たちよりも子育てしている保護者の声を優先的に聞いてあげてほしいという発言があったため、保護者のみでアンケートをとりました。

対象は会に参加した人のみでなく、100%すべて集まったわけではありませんが、15歳以下のお子さんがある全保護者です。中学3年生の保護者は直接統合には関係ありませんが、後輩のことを考えてどちらがよいかを判断してほしいということでアンケートを記入してもらいました。保育所の保護者も将来的には関わってくるということで投票をしてもらいました。

Q：アンケートをとっていく中で、どこで統廃合の賛否をとろうとしているのか。

A：アンケートをやったとして、どこで判断をするかということですが、このアンケートの例に載っているものと時期がずれているため、令和9年までに統合したいという意見、令和10年までに統合したいという意見、新校舎ができたときに統合したいという意見に分かれてくると思います。それらを足した数字が意見として反映され（それまでにやってほしい）、その時期を合わせていくような形になると思います。そのため、あくまでも統合に反対という方は、アンケートの一番上を選ぶことになります。

※補足 先程お伝えしたとおり、アンケートはとっていく方向で検討していきたいと考えています。何もしなければずっとそのままです。篠島の人たちの意見を反映することができません。反映させるためには、アンケートをとらざるをえません。そのためアンケートをとり、進めていきたいと考えていますので、ご了承ください。今日意見交換会にきている保護者の人数は少ないため、今日の次第を保護者の皆さんにお配りしたほうがよいと考えている。まずは一度目を通してもらいたいと思います。まずは配布し、今後アンケートをどうしていくかも含めて検討していきたいと考えております。

Q：前回の意見交換会で校舎白紙の件を聞いて、来なくなった人が多いと思う。校舎建設の見込みはないのか。

A：1年猶予をいただき、役場内で検討しています。検討結果については、年度末を目途に出す予定をしています。そこで新校舎建設を含めた住民説明会を行う予定です。説明会で新校舎がいつ建設になるのかある程度出てきますので、それを待って先程の未定の部分の年度が固まるようならその時点でよいですし、その前にアンケートを先程の例のとおりでやってよいということであればそれでアンケートを取れないことはないと思います。ただ、時期は未定ですが、定期的に意見は聞かなければならないと感じています。みなさん各々意見は異なるため、それはしっかり聞いていく必要があると考えています。今回説明会にみえた方が少ないため、どういったことをやっているか保護者も分からない部分が多くあるかと思いますので、意見交換会の次第だけでも、まず目を通してもらおうと考えています。

Q：先程の個人でも希望する生徒がいれば南知多中への通学を可能にするということについてもう一度伺いたいのですが、篠島の中で話し合いがまとまって、それを受け入れることができる状況になればよいのか、始めから篠島が良いと言ってもだめなのか、そこが気になります。

A：先程お伝えしたとおり、本当はすべてのお子さんが同じ中学校に通うようにしていきたいのですが、もし篠島地区のなかで一部の子が南知多中学校に通うようになっても良いと意見がまとまった場合は、その意見は尊重したいと考えています。

その他自由記述意見

・アンケート実施から統合に流れるのが本当に怖いです。当初から災害対応については言っているところですが、ここまで回数を重ねても全く十分であると考えられません。中学で本土に通わせることになれば、子どもたちの命は船なら船長さんに、バスなら運転手さんにあずけるということです。一次避難、二次避難それがもしも学校到着前だったら、一体何日間子どもたちの安否も分からずに過ごすのでしょうか。学校到着前なら学校も把握はしていないはずで、「友達を増やす」「世界を広げる」そのためだけに「命」をかけることは出来ません。